

富山信用金庫

太閤山支店

(社会人11年目)

【取材日：2025.12.4】



現在のお仕事について教えてください

富山信用金庫の支店で窓口業務を担当しています。来店されたお客様の預金に関するお手続き、口座振替、ローンや年金、相続に関する相談、保険・投資信託等の金融商品のご案内をしています。支店の勤務は女性も多く、業務からプライベートまで相談に乗っていただける心強い先輩に囲まれています。

富山大学で学ぶきっかけ

富山県内にある国立大学というのが大きいです。高校入学時から先生に「富山大学に行きたいです」という意思表示をしていました。高校の先生方の後押しもあり、富山大学経済学部経営学科に進学しました。

学生生活を通じて自己分析

大学で初めて触れた経営の勉強は、シンプルに面白いと感じました。面白さの中で、経済が回る仕組みを知ることが出来ました。経済分野の就職先を考える中、アルバイトやインターンシップを通じて、人と会話をしたりコミュニケーションをとる仕事のほうが自分には向いていると感じました。

Profile 富山県出身。富山県立富山北部高等学校卒業。2011年、富山大学経済学部経営学科に入学。大学で軽音楽サークルFSCに所属し、副部長を務める。2015年4月より、富山信用金庫に入庫。学生時代に培ったコミュニケーション能力を活かして業務に取り組んでいる。プライベートでは同じサークル出身の男性と結婚し、1児の母として公私ともに充実の日々を過ごしている。

富山大学で得たものは何ですか

人との繋がりで。学生時代は軽音楽サークルに所属していました。現在も3年に1度、富山市で現役のサークル生が卒業生招待ライブを企画してくれるので、学生時代のサークル仲間や先輩・後輩と定期的に会っています。ご縁があり、卒業後に同じサークルに所属していた人と結婚しました。自分たちの結婚式で、学生時代のバンドで演奏しました。それを見た富山信用金庫の当時の所属長が、当庫のCMテーマソングの作成チームに誘っていただき、仕事でも音楽に関わることが出来たのは嬉しかったです。

富山大学の魅力

富山県外出身の学生が一定数いて、授業やサークルを通じて自分と異なる考え方や知識が豊富な人たちと交流でき、価値観が広がる場所です。松井隆幸教授のゼミに所属していました。先生には勉強以外のことも相談しやすく、就職の相談も気軽にできたことが心強かったです。

高校生へのメッセージ

高校生の頃は具体的に将来をイメージできませんでした。ゼミ活動、インターンシップ、アルバイトを通じて、自分の希望や苦手なことを自己分析し、現在の職場に出会うことができました。ぜひ大学生活を通じて自分と向き合ってください。